

考 査 B

(30 年)

受 検 地	受 検 番 号	氏 名
	頭符号()	

※この欄には記入しないこと。

答 案 用 紙

30年 考查B
建築計画1

	(い)	(ろ)	(は)	(に)			
	審査対象項目	適 合○ 不適合×	・理由(「適合箇所及び適合となる理由」又は「不適合箇所及び不適合となる理由」) ・許容限度と計画の数値(計算式も明示すること。)(1～5、7～10及び14の項目)	根拠規定 (例)令第〇条第〇項第〇号 法別表第〇 平成〇年告示第〇号			
1	建蔽率						
	建築物の各部分の高さ (道路高さ制限、北側高さ制限)			※この欄には記入しないこと。			
				1	2	3	4
				5	6	7	8
				※この欄には記入しないこと。			
				1	2	3	4
				5	6	7	8

建築計画 1

	(い)	(ろ)	(は)	(に)			
	審査対象項目	適 合○ 不適合×	・理由(「適合箇所及び適合となる理由」又は「不適合箇所及び不適合となる理由」) ・許容限度と計画の数値(計算式も明示すること。)(1～5、7～10及び14の項目)	根拠規定 (例)令第○条第○項第○号 法別表第○ 平成○年告示第○号			
3	用途地域内の 用途制限						
			※この欄には記入しないこと。				
			1		2	3	4
5	6	7	8				
4	1 階部分の軸組 の構造 (軸組の有効長さ)						
			※この欄には記入しないこと。				
			1		2	3	4
5	6	7	8				
5	ホルムアルデヒド に関する有効換 気量						
			※この欄には記入しないこと。				
			1		2	3	4
5	6	7	8				

建築計画 2

[illegible]

建築計画 2

[illegible]

建築計画 2

[illegible]

建築計画 2

	(い)	(ろ)	(は)	(に)
	審査対象項目	適 合○ 不適合×	・理由(「適合箇所及び適合となる理由」又は「不適合箇所及び不適合となる理由」)	根拠規定 (例)令第○条第○項第○号 法別表第○ 平成○年告示第○号
11	防火区画 (面積区画)			
12	防火区画 (竪穴区画)			

建築計画 2

	(い)	(ろ)	(は)	(に)								
	審査対象項目	適 合○ 不適合×	・理由(「適合箇所及び適合となる理由」又は「不適合箇所及び不適合となる理由」) ・許容限度と計画の数値(計算式も明示すること。)(1～5、7～10及び14の項目)	根拠規定 (例)令第○条第○項第○号 法別表第○ 平成○年告示第○号								
13	廊下の幅 (廊下3、廊下4、 廊下5)			<div></div> <div>※この欄には記入しないこと。</div> <table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8
1	2	3	4									
5	6	7	8									
14	直通階段の数及 び歩行距離 (店舗3、店舗4、 事務所3、会議室 1、会議室2)			<div></div> <div>※この欄には記入しないこと。</div> <table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8
1	2	3	4									
5	6	7	8									

建築計画 3 (構造審査)

設問1. 構造計算書(令第88条の規定に基づく地震力の計算)に係る審査

審査	(い)	(ろ)	(は)				
	審査対象項目	適切○ 不適切×	理由(適切又は不適切であると判断した理由) (判断根拠となる数値又は数式も理由に記入)				
構造計算書の数値に係る適切・不適切の審査	設計用一次固有周期Tの数値		<div>※この欄には記入しないこと。</div> <table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4
	1	2	3	4			
	Rtの数値		<div>※この欄には記入しないこと。</div> <table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2	3	4				
地震力Qiの数値		<div>※この欄には記入しないこと。</div> <table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	
1	2	3	4				

建築計画 3（構造審査）

設問2. 構造計算書(令第 82 条の 6 に規定する許容応力度等計算)に係る審査

審査	(い)	(ろ)	(は)
	審査対象項目	適切○ 不適切× 〔適合○〕 〔不適合×〕	・理由(「適切である若しくは不適切である」又は「適合である若しくは不適合である」と判断した理由) (判断根拠となる数値又は数式も理由に記入)
構造計算書の数値に係る適切・不適切の審査	昭和 55 年建設省告示第 1791 号「建築物の地震に対する安全性を確かめるために必要な構造計算の基準を定める件」第 3 第一号に係る数値		
構造計算書に係る審査	「壁量等」に関する判定		

※この欄には記入しないこと。

1

2

3

4

※この欄には記入しないこと。

1

2

3

4